

学校名 嵐山町立菅谷中学校
所在地 比企郡嵐山町菅谷 6 4 9
電 話 0 4 9 3 - 6 2 - 2 0 5 5

1 本校の概要

開校 66 年目を迎えた本校は、町の中心部に位置しながらも緑豊かな環境に囲まれた、歴史と伝統のある学校である。通学する生徒は 287 名で、すべてが隣接する菅谷小学校から入学する。3 年前より小中連携・小中一貫教育への様々な取組が進んでおり、生徒たちは地域の協力の中で、のびのびと諸活動に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書活動の充実を目指した委員会活動

(2) 実践の概要

図書委員会の活動を通して、生徒の利用拡大を目指し、魅力ある図書室作りを推進した。

ア 読書量調査の実施と読書マラソン表彰

毎学期末に、全校生徒を対象に読書量調査(冊数)を実施。朝読書や自宅で読んだ本の冊数のクラス合計をグラフ化した掲示物を作成し廊下に掲示するとともに、町の教育委員会と連動した、「読書マラソン」(30 冊読破)達成者の掲示と表彰を行っている。



イ 利用者拡大を目指した「図書便り」の発行

図書委員の生徒が、図書室の利用のしかた・推奨図書の紹介・読書量調査結果などを記事にした便りを全校生徒へ配布。新年の図書便りでは「お年玉クイズ」を掲載し、図書

委員が作成した図書や図書室に関するクイズに正解すると、本のリクエスト券などが得られるイベントを実施した。

ウ 企画コーナー・ディスプレイの工夫

長期休業前の特別貸出しに合わせて夏休みやクリスマス等の企画コーナーを設置した。



エ 教養講座(手作りしおり教室)の実施

冬期休業前の貸出しにおいて、一定期間内に図書室で本を借りた人は、「しおり教室」に参加できるという「クリスマスキャンペーン」を行った。色画用紙に貼った折り紙や切り抜きをラミネーターで仕上げ、オリジナルのしおりを作成するという「利用者参加型」にしたところ、30 名以上の参加があった。会の準備・進行は図書委員が行い、責任や自覚を持って運営にあたる姿が見られた。



3 成果と今後の課題

活動を通して、利用者数と貸出し冊数の増加が見られ、一定の成果を挙げることができた。また、図書委員の生徒の仕事に対する責任の自覚や活動意欲について、特に向上が感じられた。

今後もさらに主体的な委員会活動を工夫するとともに、教科指導における図書室の活用支援、PCやエアコンなどによるハード面の整備を自治体と共に進めていきたい。